

病害虫発生予察注意報第4号

佐賀県

県内のイチゴにおいてハダニ類の発生が平年より多く、かつ、急激に増加しています。今後、さらに発生が増加すると、株のわい化等の被害を生じる恐れがあります。

ハダニ類は小さいことから、発生に気がつきにくく、対応が遅れがちになるため、直ちに圃場での発生状況をよく確認し、発生圃場では防除対策を徹底してください。

作物名：イチゴ

病害虫名：ハダニ類



1) 注意報の内容

発生地域：県内全域

現在の発生量：平年より多い

2) 注意報発令の根拠

- (1) 11月17～20日に実施した定期調査における発生株率は34.8%であり、前回10月下旬の19.5%から増加し、平年(7.9%)及び前年(23.3%)より高い(図1)。
- (2) 発生程度は圃場間で大きく異なり、発生が認められない圃場がある一方で、前月から発生が継続して多発生となり、クモの巣様の糸の発生が認められる圃場がある。また、今回の調査で新たに発生を確認した圃場も認められる(表1)。

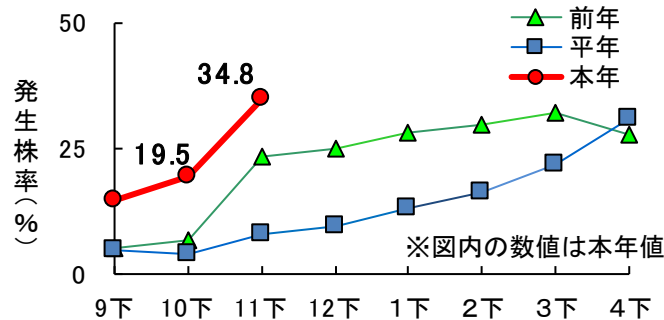


図1 ハダニ類のイチゴでの発生推移
(農業技術防除センター:10圃場、防除員:6圃場調査)

表1 イチゴ定期調査圃場におけるハダニ類の発生状況

調査地点	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
(参考)																
発生株率 (%)	0	0	36	44	0	0	84	0	16	0	0	8	32	56	28	8
	0	0	100	48	56	0	100	4	68	0	0	12	24	32	64	48

注) 令和2年10月19日～22日及び11月17～20日に県内各地のイチゴ圃場を調査(農業技術防除センター:10圃場、防除員:6圃場調査)

3) 防除上注意すべき事項

- (1) ハダニ類は小さく（体長：0.5mm程度）、肉眼では発生に気付きにくい。葉裏をルーペ等を用いてよく観察し、早期発見に努める。特に、ハダニ類の吸汁により葉に白いカスリ状の斑点が生じている場合（写真1）、既に発生が増加していることもあるため、早急に葉裏の観察を行う。
- (2) 薬剤のかけムラをなくし防除効果をより高めるため、散布前に古葉を除去する。
- (3) 薬剤防除の際は、5～7日間隔で系統が異なる薬剤を組み合わせて行う。また、薬液が葉裏にかかるよう丸型噴口等を用い、十分量を丁寧に散布する。なお、薬害を避けるため、散布後は加温機を稼働する等して濡れ時間の短縮を図る。
- (4) 天敵を利用する際は、有効薬剤によりハダニ類の密度を0頭レベルに抑えた後に、放飼する。なお、天敵を放飼した圃場であっても、ハダニ類の増加を認めた場合は殺ダニ剤による防除を行う。（参考：表2）
- (5) 農薬の選定にあたっては、「佐賀県病害虫防除のてびき〈麦類・野菜・花き・飼料作物〉」を参照する（主要な薬剤・系統：p212、ミツバチへの影響：p520～524）。



写真1: ハダニの吸汁により白いカスリ状の斑点が生じた葉



(参考) 写真: 大きさを比較するために新聞紙面上にのせたハダニ成虫



(参考) 写真: ルーペで観察した葉裏のハダニ(矢印)

表2 県内のイチゴから採取したナミハダニに対する補正死虫率（農業試験研究センター）

供試薬剤	系統 (IRAC)	供試濃度	県内11圃場の ¹⁾ 補正死虫率(%)			(参考)	
			平均	最低	最高	天敵への影響 ²⁾ (ナリカブリダニ)	蜜蜂への影響日数 ³⁾
アフーム乳剤	6	2000倍	84	22	～ 100	×影響あり	2日
マイトコーネフロアブル	20D	1000倍	76	9	～ 100	○影響少ない	1日
ダニサラバフロアブル	25A	1000倍	16	0	～ 61	○影響少ない	1日
スターマイトフロアブル	25A	2000倍	82	53	～ 100	○影響少ない	1日
ダニコングフロアブル	25B	3000倍	74	0	～ 100	○影響少ない	1日
グレーシア乳剤	30	2000倍	100	100	～ 100	×影響あり	1日

1) 供試個体: 2018(H30)～2019(R1)年にかけて、県内11圃場のイチゴ圃場(佐賀i9号9圃場、さがほのか2圃場、一部未検定あり)から採取し、インゲン初生葉を用いた卵浸漬法(各常用濃度浸漬、処理7日後に生死判定し、殺卵および殺幼虫活性を評価。補正死虫率=(水処理区の生存率-薬剤処理区の生存率)/水処理区の生存率×100)

2) メーカー資料を参考に作成。グレーシア乳剤については、カブリダニ類への長期影響(100日以上)があるため、注意する。その他薬剤を含めた天敵への影響の詳細については、日本生物防除協議会ホームページ(<http://www.biocontrol.jp/Tenteki.html>)を参照する。

3) 県防除のてびき「参考資料」から抜粋。グレーシア乳剤は、メーカー資料から引用。

連絡先: 佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部
〒840-2205 佐賀市川副町南里1088
TEL (0952) 45-8153 FAX (0952) 45-5085